

# 2021年 中国と米国の行方

現代中国問題研究家 津上俊哉

- \* 指導部に米国の覇権は終わったとの認識
- \* 1人当たりGDP倍増の長期経済計画
- \* 国家財政と金融に残る傷跡
- \* 経済のバランスが崩れてきた理由
- \* それでもパブルは崩壊しない
- \* 不可欠な富の一局集中の是正
- \* 隠然たる力を持つ対外強硬派
- \* 左傾、右傾を決める二つの要因
- \* アメリカの対中強硬策は逆効果
- \* 米中対立下での日本のスタンスとは



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
最初に皆さんにお詫びしなければいけません。先週は講師のご都合で中止になりました。今日は津上さんに無理をお願いをして、しばらくしてからお呼びするつもりでございましたのを、かなり前倒して早く来ていただきました。

一つは、このビルの管理者のほうから、人を集める集会はなるべく遠慮してほしいと言われておると、もう一つは、こういう社会情勢の中で、来られる講師の方がやはり組織の中で、外での観客のいる講演には行かないとか、地方の方ですと1都3県には行かないでくれというような、かなり厳しい規制をかけられているようございます。今予定している今後の講師の方も、皆さんそういう圧力を受けておりますので、

やむを得ず次回から2月末までオンラインのみの講演とさせていただきます。何分状況を考えまして、皆さんのご協力とご寛容さに免じていただきたいと思います。

それでは、今日は2年ぶりぐらいになりますか、中国研究家の津上さんに中国の現状と展望についてお話をいただきます。津上さんは、経済産業省にお勤めの後、独立されて、中国を専門に研究しておられます。学者のかなり限定されたものの見方に比べますと、非常に現実を直視して、データに基づいて中国をわかりやすくお話しただけということ、前回に続きまして津上さんにおいでいただきました。それでは津上さん、よろしくお願いたしました。（拍手）